



キリスト教神学入門

山崎チャペル内一宮基督教研究所

安黒 務

E-mail: aguro@mth.biglobe.ne.jp

<http://www2s.biglobe.ne.jp/aguro/>

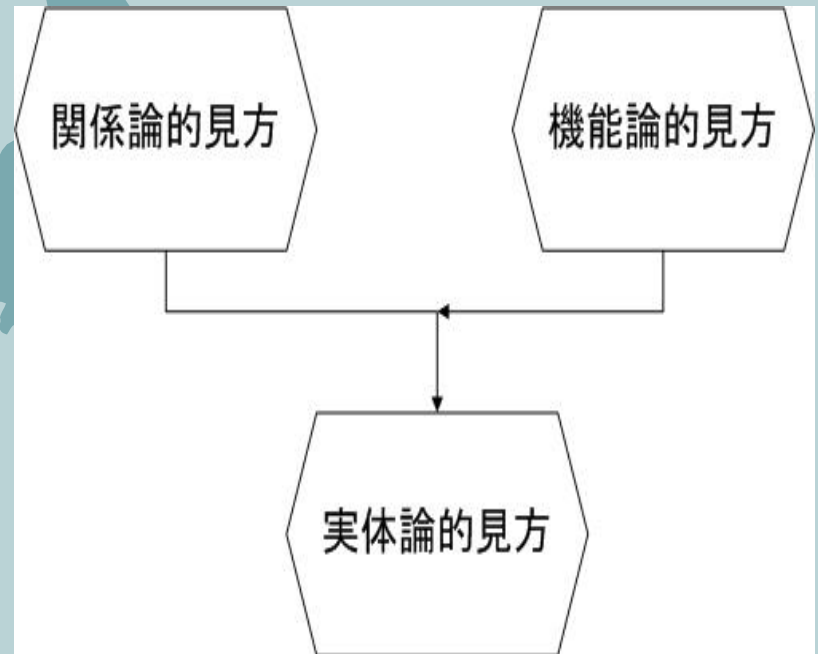
キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

第五部 人間論

- 17章 人間の教理への導入
- 18章 人間における神の像
- 19章 人間の性質の構成

1. 関連聖句
2. 像についての諸観点
 1. 実体論的見方
 2. 関係論的見方
 3. 機能論的見方
3. 諸観点の評価
4. 像の性質に関する結論
5. 教理の意味合い



序

1. 人間はどこから来たのか
2. 異常な状態にある人間
3. 鍵となる表現
4. 「神の像」と何を意味するのか？

1. 関連聖句

1. 創世記1:26 - 27、5:1、9:6
2. コリント11:7、ヤコブ3:9、使徒17:2
8
3. ローマ8:29、コリント3:18(エペソ4:
23、コロサイ3:10)

2. 像についての諸観点

序

- 神の像についての幾つかの定義
 1. 人間の真の性質 実体論的見方
 2. 神と人間、人と人 関係論的見方
 3. 人間がなす事柄 機能論的見方

2 . 像についての諸観点

1 . 実体論的見方

1. キリスト教の歴史で最も顕著な見方
2. 心理学的・靈的特質 - ホモ・サピエンス
3. 最も重要な側面 - 理性？
4. 人間の内側に性質として存在

2 . 関係論的見方

1. 関係を経験すること
2. ブルンナーとバルト
 1. イエスの人格の研究を通して
 2. 神の啓示から
 3. 神との関係の事柄として
 4. 人間関係、男女関係、社会との関係
 5. 普遍的、肯定的と否定的な関係
 6. 結論は引き出されない
3. 関係が生き生きとして存在する経験

3 . 機能論的見方

1. 私たちが遂行する行為
2. 創世記 1 : 26 - 28 : 神の像と支配の並置
3. 詩篇 8 : 5 - 8 は創世記 1 章に依存
4. レオナルド・バーデュイン
 1. 支配の思想
 2. 文化命令
 3. 弟子とせよ

3. 諸観点の評価

1. 関係論

1. 十戒、二つの偉大な命令
2. 関係論のもつ問題点
3. 反実体論的立場の背景

2. 機能論

1. 神の像と支配権の密接な関係
2. 困難 - 詩篇8と創世記1の結びつき？
3. 創世記1: 神の像と支配権の行使を同等視？

3. 実体論

1. 聖書は知的側面に特定していない
2. 知的な未信者の方が知的にすぐれている場合も

4 . 像の性質に関する結論

1. 直接の陳述なし、合理的な推論が必要

1. 神の像は普遍的なものである
2. 神の像は墮落においても失われなかった
3. 神の像において程度差は示唆されていない
4. 神の像は変わりやすい相互関係ではない
5. 所有・行為よりも、存在のうちにある
6. 運命達成を可能とする人間のうちにある諸能力
7. 神の創造は明確な目的をもっている

2. 人間はなぜ神の像に造られたのか

1. イエスは御父との完全な交わりをもっておられた
2. イエスは御父の御心に完全に従順であられた
3. イエスは人間に対して常に強い愛を明らかにされた
4. 同様の御心を人間に抱いておられる

5 . 教理の意味合い

1. 私たちは神に属している
2. 私たちはイエスに習うべきである
3. 私たちは完全な人間性を経験しうる
4. 学問や仕事において長所がある
5. 人間は価値ある存在である
6. 人間において普遍的である
 1. 人間には尊厳がある
 2. 他者の合法的な支配権を侵害すべきでない
 3. さらに広範な領域への意味合い
 4. 胎児はすでに人間なのか
 5. 神の像に造られた神の作品